

## No.44 安心安全な学校づくりと家庭や地域等と連携した安全管理の推進

- 管内 上川管内  
 ■分類 防犯教室 安全マップ 不審者対応訓練 その他（ ）  
 ■教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動  
 ■校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校  
 ■取組のポイント

- 児童の危険回避能力を身に付けるための安全教育の充実  
 ○ 家庭、地域、関係機関と連携を図った児童の安全確保に向けた取組の充実

■取組の実  
ねらい

- 安全教育の充実を図るとともに、地域との連携を図った安全管理を推進することにより、児童が危険回避のための基本的な行動について理解を深める。

## 内 容

## 1 児童が危険回避能力を身に付けるための安全教育の実施

年2回実施する防災訓練とあわせて、防犯訓練を1回実施した。防犯訓練では、校内外で不審者等に遭遇した際に、児童が自ら適切に判断して行動できることをねらいとし、自らの身を守る方法について考えさせるとともに、危険回避の基本的な行動について指導した。

特に、低学年においては、学級活動の時間に危険回避の心構えについて「いかのおすし」をキーワードに、ロールプレイングを取り入れ、危険の予測、回避の方法について指導した。

## &lt;校内での不審者対策&gt;

- 事前指導  
児童は校内に侵入した不審者の行動に応じて、逃げる、机などでバリケードをつくるなどの対応があることを学んだ。
- 訓練  
児童は校内に不審者が侵入した際の放送を知り、教師の指示に従って行動するなど、校内での対応の仕方について訓練を受けた。
- 事後指導  
児童は各学級で不審者に対する各自の行動の在り方について振り返るとともに、登下校中等における危険回避にかかわる行動の仕方について理解を深めた。



## 2 家庭、地域、関係機関と連携を図った児童の安全確保に向けた取組

- P T A、地域ボランティアによる下校指導  
平成18年度から児童を犯罪から守るため、P T Aや地域のボランティア（校区町内会、交通安全協会、老人会）と連携を図り、低学年の下校時を対象に週1回程度、不審者対策（防犯）のパトロールと下校指導を実施した。
- スクールガードリーダーの見守り活動  
平成22年4月からスクールガードの登録を開始した。スクールガードリーダーは、通学路の危険箇所の点検や児童の登下校時の交通ルールの遵守状況の確認と指導、厳寒期における通学路の除排雪の点検を月2回程度実施した。
- 「こども110番の家」の指定  
平成10年頃から、町の防犯協会が中心となり、「こども110番の家」の指定が推進され、児童の登下校の際の緊急事態に対応できるよう、通学路沿いの商店や民家が中心となり地域活動の一環として実施した。



## 成果と課題

- 防犯訓練の実施に当たり、児童の危険回避能力の育成をねらいとしたことにより、児童の活動が主体的になり、状況を判断する力が向上した。
- 学校が積極的に地域・P T A、関係機関と連携を図ったことにより、地域全体の防犯意識の高揚につながった。
- 今後は、防災・防犯に関する連絡協議会を設置するなど、警察等の関係機関、教育委員会と一層連携を図り、定期的に情報交換や学校の防犯を見直す機会を設ける必要がある。